

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	新編化学基礎、新編化学(東京書籍)
補助教材等	ダイナミックワイド図説化学、ニューグローバル化学基礎+化学(東京書籍)
学習上の留意点	
<p>評価は $(a+b-c) \times 100 / (A+B)$ でおこなう ただし、定期試験 a点(A点満点) 小テスト b点(B点満点) 授業態度等 c点 再試験等は行わない</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>理解するためには、頭を使わなければならない。しかし、頭だけでなく、目、耳、口、手も使わなくてはいけない。 1問1問、電卓のキーをたたいて問題を解くことが大事です。コツコツと</p>	

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	1年の復習テスト		
2	酸化数の定義と求め方	酸化数の意味が理解できる 酸化数が求められる	
3	演習		
4	酸化数と酸化還元	酸化された物質、還元された物質が酸化数の増減で判定できる	
5	イオン化傾向	イオン化列を使ってどのような反応が起こるかが判定できる	
6	電池	電池の原理が理解できる 一次電池、二次電池の種類がわかる	
7	電気分解	電気分解したとき、陰極、陽極でおこる反応をイオン反応式で表すことができる	
8	前期中間試験		
9	試験解説 ファラデーの法則	ファラデーの法則を使って計算ができる	
10	演習		
11	状態変化	物質の状態変化が理解できる 蒸気圧、圧力の意味が理解できる	
12	ボイルの法則	ボイルの法則を使って計算ができる	
13	気体の状態方程式	気体の状態法廷気を使って計算ができる	
14	演習		
前期末試験、学年末試験			
15	試験の解説		

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	前期の復習テスト		
17	理想気体と実在気体	理想気体と実在気体の定義が理解できる	
18	演習		
19	実験	濃度に関する実験を行うことにより、濃度、物質質量に関する復習を行い、理解度の確認ができる 実験に関する注意点を理解する	
20	実験内容の解説		
21	演習		
22	後期中間試験		
23	試験の解説 演習(反応をともなう計算)		
24	実験	反応に関する実験を行うことにより、反応をともなう計算に関する復習を行い、理解度の確認ができる 実験に関する注意点を理解する	
25	実験内容の解説		
26	演習		
27	実験	中和滴定の実験を行うことにより、酸、塩基に関する復習を行い、理解度の確認ができる 実験に関する注意点を理解する	
28	実験内容の解説		
29	演習		
学年末試験			
30	試験の解説		
総 授 業 時 間 数			60 時間